

## 未公開チューンドマシン 独占スクープ、だ！



ギャレット製T04Eタービン(A/R0.84)に換装、3層インタークーラー、ピクトリ76マフラーでチューン。最高出力は440psと強力だ。

コンソール・ボックス内には、AICやGCC、EVC、Fコンなどをセット。スバルタンに仕上がっている。

国内最強を誇る7M-Gエンジンを、最高出力440psまでパワーアップさせたのが、このソアラである。ギャレット製T04E(A/R0.84)に交換、インタークーラーもHKSの3層タイプに変更し、圧縮比は2mm厚のガスケットを組み7・8にダウンしている。低回転域は7M-Gの大トルクでスルスルッとボディを引っ張り、3000rpmあたりからは徐々にブリストが効き始め、3500rpmでフルブリストの1・2kg/cm<sup>2</sup>に達する。と、同時に爆発的な加速が始まるのだ。とくに、時速100kmを超えてからの加速はケタはずれである。そのまま、どこまでもフロントノーズを持ち上げながらフル加速するから圧巻だ。トリアルでは、このソアラで最高速300km/hを狙っているという。このファイリングでは十分300km/hが期待できそうなマシンである。

## ソアラ3.0GT改T04Eターボ



## スーブラ2.0GT改T04Eターボ

「気軽に遊びに来て下さいね♡」

ツインからシングルタービン化した1G-GTEU。タービンはギャレット製T04Eを装備する。レスポンスはスバ抜けて高い。



「このスーブラでよくゼロヨンに出かけます。5ナンバーで3ナンバー車を力もめるのは最高！」とはオーナーの弁。



オリジナルのピクトリーマフラーを装着。径は76mmだ。



185ps/6200rpmを発揮する1G-GTEUでも、今イチパワー不足に悩んでいるオーナーも多いんじゃないかな。けど、このスーブラは、オリジナルのツインターボから、なんとシングルターボに変更し、そんな不満を一気に解消したマシンなんだ。

タービンはギャレット製T04E(A/R0.50)、3800cc容量のサブインジェクターを2本取り付け、AICでコントロールする。最大ブリスト圧は1・3kg/cm<sup>2</sup>で、このときのパワーは380psを発揮。走り出した瞬間、レスポンスのよさがわかる。なかなか鋭い吹き上がりを見せてくれるのだ。そして3800rpmからは、ターボ特有のジェット感覚を味わわせてくれる。タイムラグもなく、じつに扱いやすいのがうれしい。2と1で3と級のマシンを軽く力もめる実力をもったこのスーブラ、ホント頼もしいマシンだ。



トリアル 〒578 大阪府東大阪市菱江780-1  
☎0729-65-6823